

## みかげ交流会主催の ゲートボール大会が開催



審判の大きな声とボールの音が響き渡る中、16チーム・約90人のみなさんが熱戦を繰り広げました。

レストハウスみかげ敷地内のゲートボール場で自主活動する、みかげ交流会（沼尻芳蔵会長）主催のゲートボール大会が開催されました。

当日は、桜川市をはじめ、筑西市・板東市から16チーム・約90人が参加。笑顔と大きな歓声が飛び交う楽しい大会となりました。「今回は、66歳から94歳の幅広い方の参加がありました。今後、組合わせなどを工夫して参加チームを増やしたい。また、親睦を深める一日となったようです。」と、沼尻会長は話していました。

## 筑西遊湯館の 入館者が100万人達成



筑西遊湯館の100万人目の入館者となった高橋米子さん（写真左／筑西市）に、筑西広域市町村圏事務組合の富山管理者（写真右）から記念品と花束が贈呈されました。

桜川市・筑西市・結城市で構成する、筑西広域市町村圏事務組合「筑西遊湯館」の入館者が100万人に達しました。

平成15年4月にオープンしたこの施設は、隣接する環境センターのゴミ焼却熱を温水プールやお風呂に利用した環境にやさしいクリーンな施設。100万人目の入場者となった高橋米子さん（筑西市）は「健康のために、2年ほど前から水泳教室に通い始めました。今では、クロールや背泳ぎも出来るようになりました。最近、孫を連れて来られています。」と話していました。

## 真壁・大和地区たばこ販売 女性部が環境美化運動を実施



吸い殻の落ちていないきれいな街を願って、りんりんロード真壁休憩所周辺の環境美化運動を実施した。真壁・大和たばこ販売女性部のみなさん。

真壁・大和地区たばこ販売女性部のみなさんが、喫煙マナー向上と未成年者喫煙防止をスローガンに、りんりんロード真壁休憩所とJR大和駅周辺で環境美化運動を実施しました。

「今年はゴミがほとんどなく、皆様一人ひとりのご協力の結果と会員一同嬉しく思っています。7月から未成年者喫煙防止のため成人識別ICカード（タスポ）が始まりました。桜川市では、カード作成が低迷しております。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。」と、みなさんは話していました。

## 地域づくりのリーダーが 一堂に集う区長会議開催



各地区の区長さんと市当局が話し合う「桜川市区長会議」が、シトラスで開催されました。

区長さんは、市民の皆様と行政のパイプ役として、市からのお知らせや地域住民の皆様のご意見ご要望を代表として市に提示したりと、常日頃から地域づくりのリーダーとして活躍されています。会議では、市から、デマンド型乗合タクシーなど、平成20年度の主要施策の概要説明があり、その後、行政全般に対する意見や提言が出されるなど、市政について活発な意見交換がされました。

## 真壁バレーボールスポーツ 少年団(学)が全国大会出場



「第28回全日本バレーボール小学生大会」女子の部に出場する、真壁バレーボールスポーツ少年団のみなさん。

県内各地区の予選を勝ち抜いた32チームが参加して古河市で行われた「全日本バレーボール小学生大会茨城県大会」女子の部で、本市から参加の真壁バレーボールスポーツ少年団が見事優勝。今月12日から15日、東京都で行われる「第28回全日本バレーボール小学生大会」の出場権を獲得しました。

「全国大会では、県西地区の代表として、茨城県の代表として、精一杯戦ってきます。」と、選手のみなさんは力強く話してくれました。決勝トーナメント出場が期待されます。

## マカベシルバートピアで 10周年記念コンサート開催



介護老人保健施設「マカベシルバートピア」（宮本昭彦理事長）で、創立10周年記念コンサートが開催されました。

利用者のみなさんにプロの演奏や歌声で楽しい時間を過ごしてもらおうと、オペラ歌手の大塚博章さん・小林祐太郎さん、尺八奏者の安島瑤山さん、ピアノニストの福田修さんが招かれ、「ふるさと」や「千の風になって」など8曲が披露されました。利用者のみなさんは、リズムに合わせて拍手をしたり合唱するなどして、楽しい時間を過ごされたようです。

## 真園会が社会福祉施設に 初夏の味覚をプレゼント



真園会役員（写真後列左から、草間祐一さん、柳田武さん、藤田健彦さん）が真壁授産学園を訪問し、園生と職員の方に小玉スイカとキュウリをプレゼントしました。

真壁地区の施設園芸農家15人で構成する「真園会」（柳田武会長）の皆様から、真壁地区の社会福祉施設「真壁授産学園・真壁厚生学園・紫峰厚生園」に、小玉スイカとキュウリがプレゼントされました。

これは、同会員が自分たちが丹精込めて作った新鮮な作物を園生に食べてもらおうと、毎年実施しているもので、今年で13回目を迎えます。

柳田会長は「毎回、園生の方に喜んでいただけたので嬉しいです。これからも続けていきたい。」と、話していました。

## 災害に強いまちを目指して 市と未来クラブが防災協定締結



本格的な台風シーズンを前に、市と市内建設業67社を中心とした「桜川市未来クラブ」が「桜川市・桜川市未来クラブ災害時における応急作業に関する協定」を締結しました。

この協定が締結されたことで、同クラブは市からの要請で大規模災害が発生した場合、人命救助のため、建築物の崩壊などに伴う障害物の除去作業、交通路確保のための障害物の除去作業、道路・橋梁などの応急復旧作業を優先的にを行い、被災者の救援に当たっていただくことになりました。